



静岡中央地区安管協会の活動紹介

「夜間視認性体験交通教室」を開催！！

静岡中央地区安全運転管理協会では、11月27日（水）の夜間、本年度安全運転管理推進3事業所から40人が参加し、夜間において歩行者の態様の違いでどのように見えるかという「夜間視認性体験交通教室」を開催しました。

この交通教室は中部免許センターにおいて「しずてつジャストライン」の協力により開催され、①自発光式反射材の着用と未着用の視認性、②車のヘッドライトによる「蒸発現象」体験、③服装の色別による視認性など通常の交通教室では体験できないもので、参加者らは口々に「夜間外出する時は服の色に注意したり、反射材の着用が大切だ」と語るなど、交通安全の意識を高めることができました。

夜間の交通教室に参加された事業所は、以下のとおりです。（順不同）

- ・ 医療法人社団松英会 介護老人保健施設「あみ」
- ・ (株)NTTフィールドテクノ静岡営業所 中部フィールドサービスセンタ
- ・ 静岡市葵消防署



【夜間交通教室の参加者】

- ・ 静岡中央署（交通第一課）を始め、静岡中央地区安全運転管理協会、本年度安全運転管理推進事業所従業員の皆さんが参加しました。



【横断歩行者蒸発現象体験】

- ・ 20m先の横断歩道で、手前車両と対向車両のヘッドライトが交差したところ、横断歩行者が見えなくなる「蒸発現象」を体験しました。



【色別視認性体験】

- ・ 7色（黄、赤、青、黒、緑、茶、白）に色分したセフティコーンのうち、40m手前で色を識別できたのは黄色と白色で、20m手前では赤色が何とか識別できました。